

# 2019年度 日本頭蓋顎顔面外科学会

## 専門医認定試験

(お願い)

座席の指定はありません。

前方から順に着席してください。

試験時間	11:10	～	11:40
------	-------	---	-------

1. 鼻骨・篩骨合併骨折について関連のないものはどれか

- a) Trismus
- b) 髄液鼻漏
- c) Manson-Morkowitz分類
- d) Telecanthus
- e) 鞍鼻

## 2. 下顎骨関節突起部骨折につき誤りはどれか

- a) 介達骨折が多い
- b) しばしば耳出血が認められる
- c) 両側性では下顎の後退がみられる
- d) 小児では保存的治療を原則とする
- e) 骨頭側骨片の前内方への転位は内側翼突筋の作用による

### 3. 眼窩単独骨折について正しいものはどれか

- a) 半数以上は外側に生じる
- b) 顔面神経麻痺の頻度が高い
- c) 内側骨折では眼球陥凹は生じない
- d) Missing rectus signはCT冠状断で判断する
- e) 眼窩下神経麻痺を認めた場合は緊急手術を要する

## 4. 誤りはどれか

- a) 開咬ではオーバーバイトはプラスとなる
- b) 下顎前突症の臼歯咬合はAngle分類class IIIである
- c) オーバージェットとは前歯の前後方向の突出程度をいう
- d) セファロ分析でANBがマイナスの場合，下顎前突となる
- e) 交叉咬合では上顎の臼歯が下顎の臼歯に対して舌側に位置する

## 5. 顎顔面領域の骨・軟骨移植について正しいのはどれか

- a) 遊離骨移植による下顎再建は禁忌である
- b) 小耳症の肋軟骨採取部では胸郭変形が必発である
- c) 血管柄付き骨移植で最も長い骨が採取可能なのは腓骨である
- d) 遊離骨移植は血管柄付き骨移植に比して、術後の骨吸収が少ない
- e) 血管柄付き肩甲骨移植による下顎再建では、骨結合性インプラントの植立が出来ない

6. 次の組み合わせで誤りはどれか

- a) Crouzon病 — 眼球突出
- b) Trigonoccephaly — 眼窩離開
- c) Apert症候群 — 精神発達遅滞
- d) Cloverleaf skull症候群 — 水頭症
- e) Scaphocephaly — 矢状縫合早期癒合

7. 口腔・咽頭癌切除後の即時再建時において、もっとも使用頻度の低い遊離組織弁はどれか

- a) 遊離腹直筋皮弁
- b) 遊離広背筋皮弁
- c) 遊離前外側大腿皮弁
- d) 遊離前腕皮弁
- e) 遊離空腸弁

## 8. 顔面の美容外科手術で誤りはどれか

- a) 日本では、重瞼術（埋没、切開）が美容外科手術全体の4割以上を占める
- b) フェイスリフトは、その9割以上がスレッドリフトで、切開法は僅かである
- c) 世界的には乳房や躯幹、四肢と言った体型に関する美容外科手術が過半数を占めるが、日本では、顔面が9割を占める
- d) 切開法によるフェイスリフトで最も多い術後合併症は顔面神経麻痺である
- e) 眼窩脂肪のコンパートメントは、上眼瞼で2つ、下眼瞼で3つに別れる

## 9. 口唇口蓋裂について正しいのはどれか

- a) 黒人に最も多く発生する
- b) 日本人では約2000人に1人生まれる
- c) 口蓋裂は通常胎生4週までに形成される
- d) 発生学的に、口蓋は口唇より早い時期に形成される
- e) 唇顎口蓋裂の発生頻度は、唇裂単独、口蓋裂単独より多い

10. セファログラム（側面頭部エックス線規格写真）における上顎骨のポイントはどれか

a) Sella

b) A Point

c) B Point

d) Pogonion

e) Articulare